

**京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書**

平成22年4月14日

財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 辻 井 昭 雄 様

京 都 大 学 総 長
松 本 紘

事業区分	平成21年度・大学全体計画事業助成		
事業名	京都大学未来フォーラムの開催		
成果の概要	「成果の概要」以外に添付する資料 無 有()		
会計報告	事業に要した経費総額	2,051,625円	
	うち当財団からの助成額	1,700,000円	
	その他の資金の出所	(機関や資金の名称)	運営費交付金
	経費の内訳と助成金の使途について		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	国内旅費	57,680	57,680
	印刷製本費	703,500	703,500
	通信運搬費	146,076	146,076
	謝金	654,780	620,780
	施設使用料	317,625	0
消耗品等	171,964	171,964	
合 計	2,051,625	1,700,000	

成 果 の 概 要

京都大学総長 松本 紘

(総評)

「京都大学未来フォーラム」は、「京都大学教育研究振興財団」の後援を得て、京都大学の第1期「中期目標・中期計画」の柱に掲げられている教育計画の実現に資する事業として開催しているものである。

実施にあたり、国際的視野、社会・経済の変化に対応しうる幅広い視野で活躍されている方々を講師に招き、講演と意見交換の場を提供することにより、本学学生に対する学習・研究意欲を涵養する事業の一つとし、企業や官庁、国際機関、NGO、大学・研究機関、マスメディア、文化・芸術など様々な分野で活躍する方々を通して得られる社会からの情報還元により、学生自身が社会・経済及び文化に対応し得る幅広い視野と総合的な判断力を養い、社会の中で幅広く物事に対処できる自己の確立、また、学生自身の学習・研究への意識や意欲の向上を図ることにより、自学自習の中での自己研鑽及び意識改革へとつなげることを効果として期待している。

平成21年度は、物理学者の米沢富美子氏、作家の平野啓一郎氏、森精機製作所取締役社長森雅彦氏、元最高裁判所長官山口繁氏及び東京都現代美術館チーフキュレーター長谷川祐子氏と様々な分野から講師を迎え5回のフォーラムを開催した。各講演終了後には質疑応答の時間を設けており、活発な質問が行われた。

フォーラムには、5回で延べ1,941名の参加者があり、1回当たりの開催について380名の参加者があった。参加者の意見聴取については、毎回フォーラム終了後にアンケートを実施し、今後どのような分野の講師を希望するか等の意見を参考にしている。

(今後の計画)

京都大学未来フォーラムは、平成22年度についても継続して実施するため、今後とも貴財団からの助成をお願いしたい。